

東日本大震災復興支援

第70回国民体育大会中国ブロック大会  
弓道競技

期日 平成27年8月22日(土)～23日(日)  
会場 鳥取県立武道館弓道場  
主管 鳥取県弓道連盟

競技会役員

競技会会長 齋木幸雄  
競技会副会長 羽戸豊二 福住正道 加藤速美 谷口嘉章  
競技会顧問 大村憲一 佐藤薫 菅原喜久雄 宮脇保博  
作野茂 松岡博之 岡村豊太郎 小村治男

競技役員

競技委員長 齋木幸雄  
競技副委員長 百名朝應  
審判委員長 宮脇保博  
射場審判委員 松岡博之 岡村豊太郎 小村治男 正法地清  
横山博司 高橋利寛  
的前審判委員 原田文博 矢後雍信 稲葉順一 吾郷省治  
田中正彦 小西博文  
運行委員長 山中志郎  
運行副委員長 羽戸豊二  
進行委員 ○米倉弘一 中口寛 廣實慎治 岡川仁司  
招集委員 ○鈴木佳男 関亨 小西陽子 藤原浩昭  
記録委員 ○江原宏美 陶山恵 島かおる 清水映里  
陶山智史 辻孝紀 吉木裕喜  
放送・時計委員 ○妹尾治子 佐藤容子 下田史 塚田千香子  
的前委員 ○國本智志 春名薫 小林真由美 古田宏  
篠卷和幸 米田享央 小谷沙織 栗原里佳  
池内萌恵  
総務委員長 加藤速美  
総務委員 ○中村ルミ子 牧野幸子 柳谷秀子 中嶋洋子  
松本朗子 本田義博 安倍恵理子 柳谷秀子  
補助員 ○中井珠里 山中卓

鳥取県立米子南高等学校, 鳥取県立米子工業高等学校から弓道部員合計17名

○印は長

## 大 会 日 程

8月21日(金)	9:00~17:00	公開練習 遠的・近的
8月22日(土)	9:00~12:00	公開練習 遠的・近的
	12:30	審判会議(武道館内会議室)
	13:15	監督会議( 同上 )
	14:45	開始式 (鳥取県立武道館弓道場近的射場)
	15:00	矢 渡 ( 同上 )
	15:30	遠的競技(鳥取県立武道館弓道場) 少年男子・女子
8月23日(日)	9:00	遠的競技(鳥取県立武道館弓道場) 成年男子・女子
	11:00	近的競技(鳥取県立武道館弓道場) 少年男子・女子
	12:50	近的競技(鳥取県立武道館弓道場) 成年男子・女子
	14:30	閉会式 (鳥取県立武道館弓道場)

## 式 次 第

開始式	閉会式
1. 開 会 通 告	1. 開 会 通 告
2. 拝 礼	2. 成 績 発 表
3. 主管県連会長挨拶	3. 表 彰
4. 競 技 上 の 注 意	4. 講 評
5. 選 手 宣 誓	5. 主管県連会長挨拶
6. 閉 式 通 告	6. 拝 礼
	7. 閉 式 宣 言

## 矢 渡

射 手 教士七段	齋 木 幸 雄
第一介添 教士六段	小 西 博 文
第二介添 錬士六段	羽 戸 豊 二

## 競 技 日 程

8月22日(土) 遠的競技

2射場設置:少年男子・少年女子の順で競技する。

立順は、岡山・鳥取・島根・山口・広島 of 順で競技する。

第1回戦 15:30～6立

第2回戦 6立

同中競射

8月23日(日) 遠的競技

2射場設置:成年男子・成年女子の順で競技する。

立順は、岡山・鳥取・島根・山口・広島 of 順で競技する。

第1回戦 9:00～6立

第2回戦 6立

同中競射

近的競技

3射場設置:少年男子・少年女子・成年男子・成年女子の順で競技する。

立順は、岡山・鳥取・島根・山口・広島 of 順で競技する。

少年男子・女子

第1回戦 11:00～4立

第2回戦 4立

同中競射

(昼食休憩 40分程度)

成年男子・女子

第1回戦 12:50～4立

第2回戦 4立

同中競射

順位決定競射

競技終了

弓道競技本部・記録本部

鳥取県立武道館弓道場(米子市両三柳3192-14)

記録責任者 鳥取県弓道連盟

事務局長 加藤速美

(携帯電話 090-2004-6314)

## 選 手 名 簿

[少年男子]

立順	県名	監督名	立順	選手氏名	段位	所 属
1	岡山	吉田英生	1	竹内 寛	初段	岡山工業高等学校
			2	金石 浩志	壹級	明誠学院高等学校
			3	小郷 勇斗	弐級	津山工業高等学校
2	鳥取	福光善太	1	杉本 尚斗	無	鳥取県立倉吉西高等学校
			2	宇山 将史	初段	鳥取県立米子工業高等学校
			3	岡本 裕也	無	鳥取県立倉吉西高等学校
3	島根	岩田泰典	1	若築 宏樹	弐段	島根県立出雲工業高等学校
			2	竹下 大地	無	島根県立出雲高等学校
			3	福満 翔	初段	島根県立益田高等学校
4	山口	伊村久雄	1	舩曳 秀治	壹級	山口県立下松工業高等学校
			2	佐藤 宏哉	無	山口県立下松工業高等学校
			3	森 大樹	弐段	山口県立南陽工業高等学校
5	広島	笠岡博範	1	山岡 京	初段	広島県立宮島工業高等学校
			2	坂井原 幸起	初段	崇徳高等学校
			3	白石 晃	初段	広島県立広島工業高等学校

# 記 録

[少年男子]

立順	県名	立順	遠 的 競 技					近 的 競 技					得点 合計	総合 順位
			1回	2回	計	合計	順位 得点	1回	2回	計	合計	順位 得点		
1	岡 山	1					位					位	点	位
		2												
		3												
2	鳥 取	1					位					位	点	位
		2												
		3												
3	島 根	1					位					位	点	位
		2												
		3												
4	山 口	1					位					位	点	位
		2												
		3												
5	広 島	1					位					位	点	位
		2												
		3												

## 選 手 名 簿

[少年女子]

立順	県名	監督名	立順	選手氏名	段位	所 属
1	岡山	永原美沙	1	吉岡優花	弐段	岡山工業高等学校
			2	副島理央	初段	岡山工業高等学校
			3	佐藤愛美	初段	興陽高等学校
2	鳥取	小山英男	1	岩本真奈	無	鳥取県立倉吉西高等学校
			2	磯江ほのか	無	鳥取県立倉吉西高等学校
			3	永見栞子	初段	鳥取県立境港総合技術高等学校
3	島根	山根幸久	1	坂本 彩	壹級	島根県立大田高等学校
			2	兼折美帆	無	島根県立出雲高等学校
			3	吉村 鈴	初段	島根県立益田高等学校
4	山口	河野弘	1	西谷若葉	無	山口県立宇部中央高等学校
			2	田村月希	無	山口県立宇部中央高等学校
			3	藤岡桃香	無	山口県立宇部中央高等学校
5	広島	安武守昭	1	前原玲菜	初段	広島県立宮島工業高等学校
			2	宮本佑香	初段	広島文教女子大学附属高等学校
			3	川本絵美	初段	広島文教女子大学附属高等学校

# 記 録

[少年女子]

立順	県名	立順	遠 的 競 技					近 的 競 技					得点 合計	総合 順位
			1回	2回	計	合計	順位 得点	1回	2回	計	合計	順位 得点		
1	岡 山	1					位					位	点	位
		2												
		3						点						
2	鳥 取	1					位					位	点	位
		2												
		3						点						
3	島 根	1					位					位	点	位
		2												
		3						点						
4	山 口	1					位					位	点	位
		2												
		3						点						
5	広 島	1					位					位	点	位
		2												
		3						点						

## 選 手 名 簿

[成年男子]

立順	県名	監督名	立順	選手氏名	段位	所 属
1	岡山	高杉嘉治	1	吉田章朗	五段	岡山県警察本部
			2	古谷勉	弐段	マルシゲ工業株式会社
			3	西村英信	五段	JFEメカニカル株式会社
2	鳥取	福住正道	1	大石幸司	四段	鳥取県庁
			2	盛田圭一朗	五段	(公財)鳥取県体育協会
			3	本田洋平	錬士六段	(公財)鳥取県体育協会
3	島根	水谷充也	1	齋藤実仁	四段	松江工業高等専門学校
			2	藤原裕児	四段	株式会社 イワクラ
			3	大原直也	参段	浜田県工整備事務所
4	山口	杉山雅博	1	廣實佳祐	五段	株式会社東ソー分析センター
			2	杉岡孝治	五段	日本製紙株式会社ケミカル事業部岩国事業所
			3	上野隆夫	教士六段	山口県立萩総合支援学校(教)
5	広島	伊藤勝次	1	中山久	五段	株式会社エディオン
			2	渡辺直人	五段	広島市水道局
			3	西田雅和	四段	日本マーツ株式会社



# 記 録

[成年男子]

立順	県名	立順	遠 的 競 技					近 的 競 技					得点 合計	総合 順位
			1回	2回	計	合計	順位 得点	1回	2回	計	合計	順位 得点		
1	岡 山	1					位					位	点	位
		2												
		3						点						
2	鳥 取	1					位					位	点	位
		2												
		3						点						
3	島 根	1					位					位	点	位
		2												
		3						点						
4	山 口	1					位					位	点	位
		2												
		3						点						
5	広 島	1					位					位	点	位
		2												
		3						点						

## 選 手 名 簿

[成年女子]

立順	県名	監督名	立順	選手氏名	段位	所 属
1	岡山	戸取勇	1	人見早紀	初段	岡山商科大学
			2	村上真理	五段	株式会社岡山スポーツ会館
			3	有森照美	五段	岡山中央弓道会
2	鳥取	渡邊美喜江	1	小泉尚子	参段	山陰酸素工業株式会社
			2	清水明美	五段	東部タクシー株式会社
			3	有澤千秋	教士七段	(一財)鳥取県交通安全協会
3	島根	水谷由起江	1	塩毛絵里	五段	特定非営利活動法人 プロジェクトゆうあい
			2	阿部真之	弐段	島根大学
			3	齋藤美恵	参段	hair fashion f-1
4	山口	石津昌則	1	濱中唯衣	参段	明光幼稚園
			2	兼石幸	五段	(株)サンテック
			3	松田智子	五段	山口市弓道連盟
5	広島	和田尚樹	1	奥貴美子	錬士五段	無
			2	大下智代	五段	医療法人社団仁友会 尾道クリニック
			3	大野梢	五段	無

# 記 録

[成年女子]

立順	県名	立順	遠 的 競 技					近 的 競 技					得点 合計	総合 順位
			1回	2回	計	合計	順位 得点	1回	2回	計	合計	順位 得点		
1	岡 山	1					位					位	点	位
		2												
		3												
2	鳥 取	1					位					位	点	位
		2												
		3												
3	島 根	1					位					位	点	位
		2												
		3												
4	山 口	1					位					位	点	位
		2												
		3												
5	広 島	1					位					位	点	位
		2												
		3												

# 成 績 一 覽 表

種 別	県 名	遠 の 競 技			近 の 競 技			総 合 成 績	
		得 点	順 位	順位点	の 中	順 位	順位点	得点合計	順 位
少年男子	岡 山								
	鳥 取								
	島 根								
	山 口								
	広 島								
少年女子	岡 山								
	鳥 取								
	島 根								
	山 口								
	広 島								
成年男子	岡 山								
	鳥 取								
	島 根								
	山 口								
	広 島								
成年女子	岡 山								
	鳥 取								
	島 根								
	山 口								
	広 島								

## 第 7 0 回国民体育大会出場県

少年男子      \_\_\_\_\_ 県      \_\_\_\_\_ 県  
 少年女子      \_\_\_\_\_ 県      \_\_\_\_\_ 県  
 成年男子      \_\_\_\_\_ 県      \_\_\_\_\_ 県  
 成年女子      \_\_\_\_\_ 県      \_\_\_\_\_ 県      \_\_\_\_\_ 県

## 競技上の規定及び方法

1. 審判規定は、公益財団法人全日本弓道連盟「弓道競技規則」による。
2. 競技種目は、遠的種目及び近的種目とし、両種目とも同一選手によって行う。
3. 競技方法
  - (1) 競技は、1日目：遠的競技 少年男子、少年女子
  - (2) 競技は、2日目：遠的競技 成年男子、成年女子  
近的競技 少年男子、少年女子、成年男子、成年女子の順で行う。
  - (3) 競技は、遠的競技2射場、近的競技3射場で行う。
  - (4) 競技の立順は、岡山、鳥取、島根、山口、広島順で行う。
  - (5) 競技は、遠的競技は立射で行い、近的競技は坐射で行う。
  - (6) 競技の所要時間は、遠的競技は6分30秒以内、近的競技は7分30秒以内とする。  
1立の所要時間30秒前に注意の合図を行う。
  - (7) 本鈴（制限時間）時に射残した矢は失権。本鈴と同時に無効とする。
  - (8) 替弓・替弦の処理方法
    - ① 弦切れ（替弦・替弓）および弓の破損（替弓）の場合は、監督と役員が連携して処理を行う。
    - ② 替弦・替矢は、監督が選手の後ろに続いて持参する。
    - ③ 替弓は、役員が搬入し、射場内の指定場所に置く。
    - ④ 弦切、弓の破損による替弓の処理時間は、「制限時間内」とする。
    - ⑤ 的の転がり修正および射場・矢道・的場での不安全状況の発生により、審判が停止指示を出した場合は、行射中の全チーム共「制限時間なし」とする。
  - (9) 的中(得点)の再確認について  
監督は、審判員の裁定に従い、射場での的中(得点)の再確認を申し出ることはできない。
  - (10) 異議申立の方法
    - ① 異議申立については、監督が行う。
    - ② 全選手が射終わった時、挙手をして進行委員に申立てる。
4. 遠的種目(射距離60m、100cm 得点的、得点制)  
全種別とも、各自4射ずつ2回(団体24射)を行い、種別ごと最高得点団体を最上位とし、以下得点順位を決める。ただし、得点と同じ場合は、次の順序によって決める。
  - (1) 得点になった総的中数の多い方を上位とする。
  - (2) 同的中数の場合は、高い得点からの的中数を順次比較し、多い方を上位とする。
  - (3) 以上の条件が全く同じ場合は、各自1射(団体3射)の競射を行う。
  - (4) 同得点による競射を行い、同得点となった場合においても上記(1)、(2)により順位を決める。

5. 近的種目(射距離28m、36cm霰的、的中制)  
全種別とも、各自4射ずつ2回(団体24射)を行い、種別ごと最高的中団体を最上位とし、以下の中で順位を決める。ただし、同中の場合は、各自1射(団体3射)の競射を行い、順位を決める。
6. 射詰め競射の場合は、遠的、近的とも取矢をしなくてもよい。
7. 成績採点方式
  - (1) 各種目(遠的競技・近的競技)とも、1位－5点、2位－4点、3位－3点、4位－2点、5位－1点を与える。
  - (2) 得点合計が同点の場合は、遠的競技・近的競技のいずれか上位点のあるものを上位とする。更に順位が決定しない場合は、近的により各自1射(団体3射)の競射を行い順位を決める。
8. 使用する弓具  
両種目とも、日本弓具を使用すること。
9. 選手は矢を6本(予備矢2本を含む)用意すること。同中(点)競射の1本目は予備矢から使用する。
10. 競技中の服装は、弓道衣(白筒袖、黒袴、白足袋)とする。少年は、紺袴も認める。
11. 申込書記載の立順は変更することはできない。
12. 選手変更および立射申請・取矢免除申請
  - (1) 選手変更  
参加申し込み後の選手変更は特別な事情がない限り認めない。選手変更をする場合は、本大会の審判会議までに競技委員長に文書で提出する。但し、立順を変更することはできない。
  - (2) 立射申請・取矢免除申請  
本大会の審判会議までにその理由を明記した文書を競技委員長へ提出すること。その際、障害者手帳の写し、又は診断書を添付すること。なお、審判会議以降に発生した場合も同様とする。

## 参加資格、所属県及び選手の年齢基準

1. 実施要項総則5に定めるもののほか、次による。
  - (1) 監督は、公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認弓道指導員、公認弓道上級指導員、公認弓道コーチのいずれかの資格を有していること。

## 表 彰

1. 各種別・各種目および総合の第1位から第3位までに賞状を授与する。

## 進行についての注意点

1. 遠的競技
  - (1) 進行の早い方の立ちの「落」の3本目の離れで入場する。
  - (2) 椅子に着席して待つ。
  - (3) 「起立」の合図により立ち、本座に進む。
  - (4) 「始め」の合図により「揖」をして、射位に進む。
2. 近的競技
  - (1) 進行の早い方の立ちの「落」の3本目の離れで入場する。
  - (2) 本座にて跪坐で待つ。
  - (3) 「始め」の合図により「揖」をして立ち、射位に進む。
3. 取り矢を実施すること。但し、射詰め競射の場合は、取矢をしなくてもよい。
4. 県名を示すゼッケンを着用すること。ゼッケンは、右腰前が見やすい位置に付けること。